

TVカメラ調査結果

調査 No. : 30

配管材質 : 硬質塩化ビニル管

配管用途 : 排水管

アルファ鋼管

調査部位 : 屋外 排-3昇～建物方向

【評価の基準】

A : 腐食、管内閉塞などの劣化がほとんど認められない。

B : 腐食、管内閉塞などの劣化が進行中である。

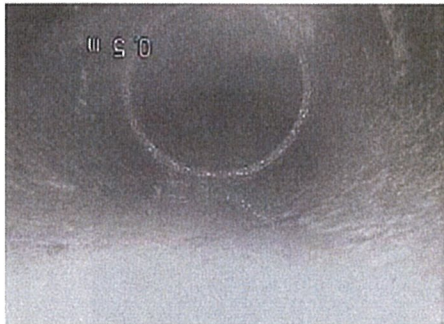
C : 腐食、管内閉塞などの劣化が顕著に認められる。

評価 : C

調査結果

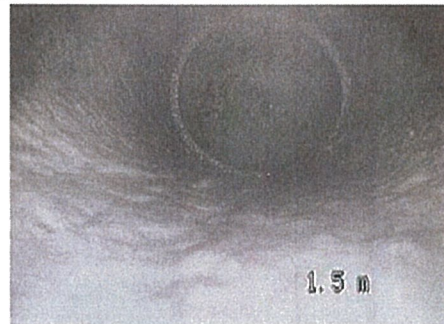
硬質塩化ビニル管使用部では、配管内面全体に付着物がみられ、一部で堆積物が認められる。
アルファ鋼管使用部では、配管端部に顕著な腐食の発生がみられ、塗膜に膨れが認められる。

写真No.1



横引部(0.5m付近)硬質塩化ビニル管使用部
内面全体に付着物が認められる。

写真No.2



横引部(1.5m付近)硬質塩化ビニル管使用部
堆積物がみられ、内面全体に付着物が認められる。

写真No.3



継手部(2.0m付近)アルファ鋼管使用部
配管端部に顕著な腐食の発生がみられ、塗膜
に膨れが認められる。

写真No.4



横引部(3.0m付近)アルファ鋼管使用部
内面全体に付着物が認められる。

サンプリング調査結果

調査 № : 追加-2

配管用途 : 給水管

調査部位 : 4階413室 メータ周り

配管材質 : 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(更生ライニング)

経過年数 : 28年

配管口径 : 20A

【評価の基準】

A : 腐食、管内閉塞などの劣化がほとんど認められない。

B : 腐食、管内閉塞などの劣化が進行中である。

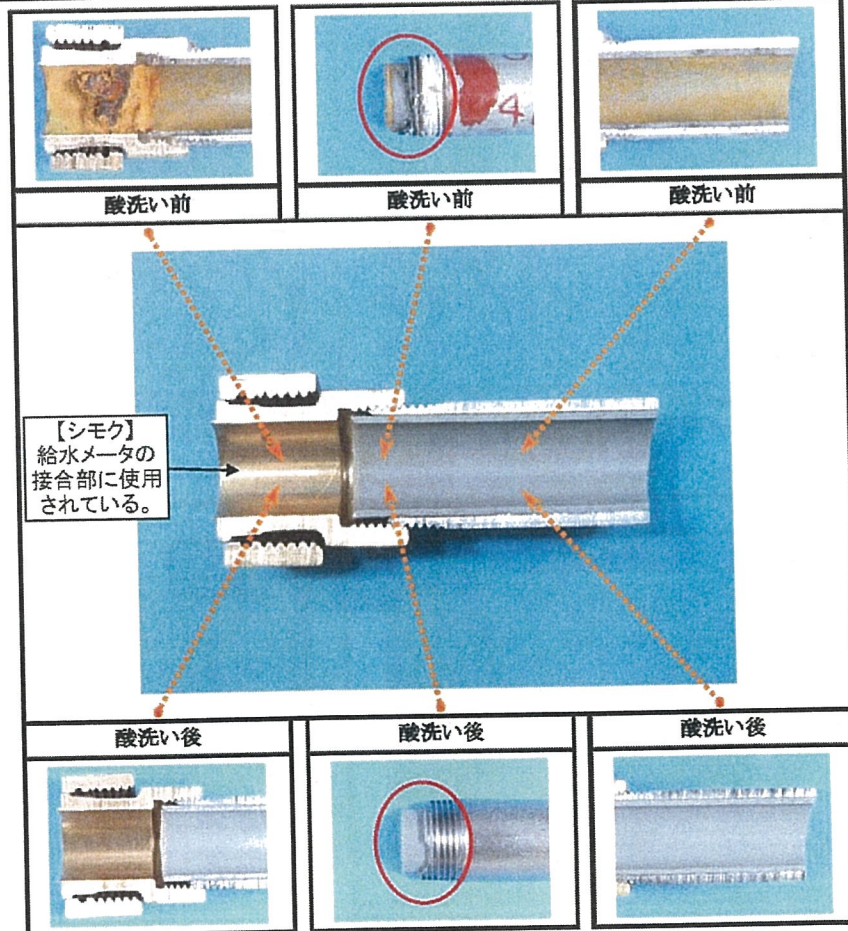
C : 腐食、管内閉塞などの劣化が顕著に認められる。

評価: C

調査結果

酸洗い前の配管内面では、シモクの接合部に腐食の発生が顕著にみられ、錆の隆起による約50%の閉塞の進行が認められる。また、内面全体に錆を含むスケールの付着が認められる。配管外面では、直管のねじ部において、ねじ山の消失が顕著に認められる。

酸洗い後の配管内面では、ライニング層などに問題は認められない。配管外面では、直管のねじ部にねじ山の消失が顕著に認められる。



給水管エルボ錆



内部に錆こぶ



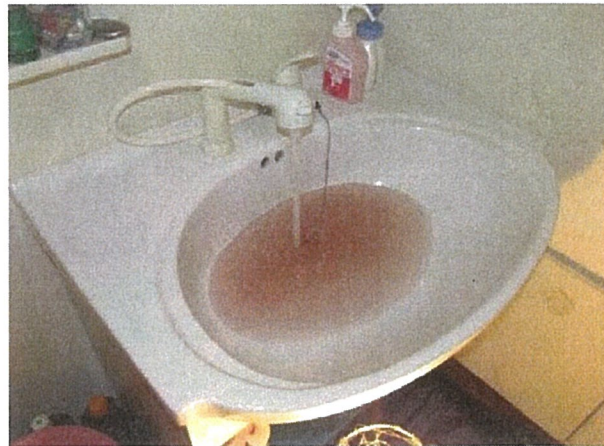
給水管抜管作業 (410 号室 MB)



更生 エポキシ樹脂溶出状況



調査部位
給水
内 容
※配管調査時に、劣化した更生ライニング材の流出が認められた。



調査部位
給水
内 容
※配管調査時に、劣化した更生ライニング材の流出が認められた。

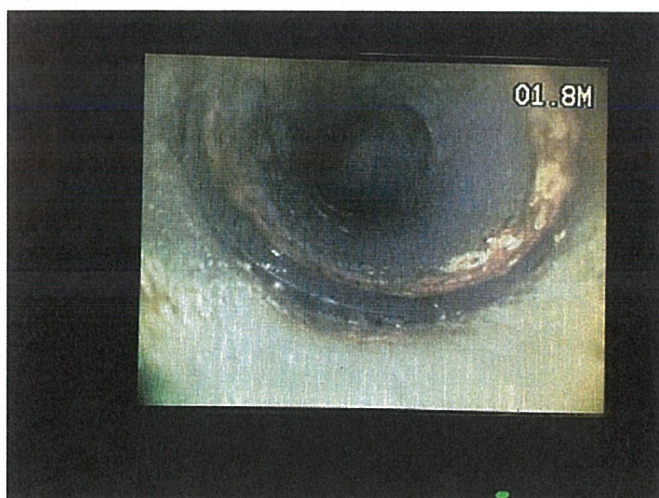


607 号室退去時の状況 (平成 28 年 1 月)

汚水集合管接続部手前
(ソベント継手内)



汚水横引管



洗面所 配管 漏水 (607 号室)



キッチン廻り配管状況

敷地内埋設配管等調査結果 (平成28年10月 抜粋)

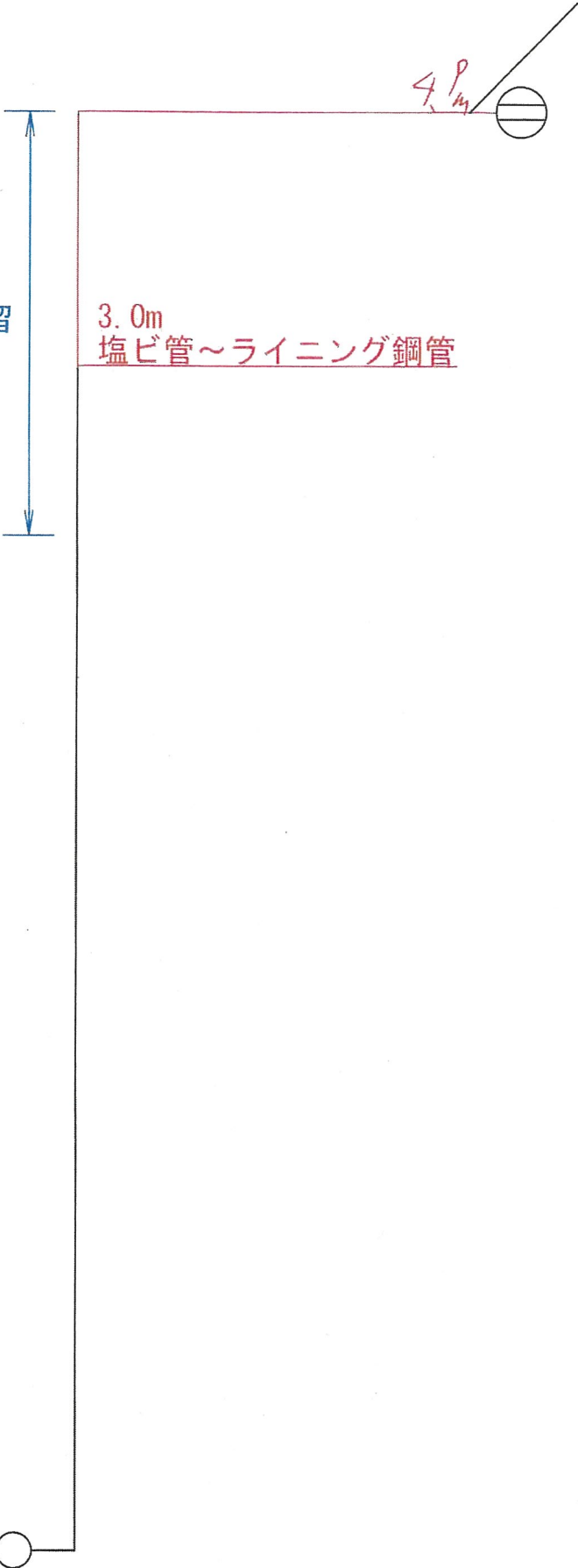
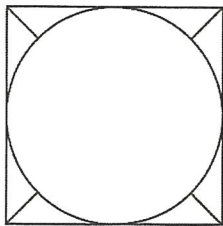
Ⅲ. 調査結果表

柵番号	No	管径	用途	系統	状況	柵補修	備考
A	1	100	1F 汚		柵～VP3m～ α 管 4.9m 2.4m～3.4m 排水滞留	A-1 管口隙間 A-3 管口隙間	
	2	65	1F 雑		柵～VP3.5m～ α 管 9m 3.0m～4.7m 排水滞留		
	3	125	立管	ア	柵～VP2.8m～ α 管 9.7m 2.0m～3.4m 排水滞留		
B	4	65	1F 雑		柵～VP2.7m～ α 管 6m 6.2m～7.0m 排水滞留	柵 管落ち	
	5	100			柵～VP2.4m～ α 管 7.4m 2.1m～2.3m 排水滞留		
C	6	125			挿入不能	柵埋没 C-6 管口隙間	
D	7	125			柵～VP2.4m～ α 管 5.5m	D-7 管口隙間	
	8	125			柵～VP2.5m～ α 管 9.5m 0m～0.3m 排水滞留		
	9	65	1F 雑		挿入不能		
E	10	65	1F 雑		挿入不能	E-10 管口隙間	
	11	125			柵～VP2.2m～ α 管 4.8m	E-11 管口隙間	
	12	125			柵～VP2.2m～ α 管 10m	E-12 管口隙間	
F	13	65	1F 雑		柵～VP2.7m～ α 管 7m 2.4m～3.0m 排水滞留	F-13 管口隙間 F-14 管口隙間	
	14	100			柵～VP2.6m～ α 管 7.4m		
G	15	125			柵～VP2.7m	G-15 管口隙間	
H	16	125			柵～VP3.1m～ α 管 3.5m	H-16 管口隙間	
I	17	65	1F 雑		柵～VP13.2m 6.2m～11.7m 排水滞留	I-18 管口隙間	分岐有
	18	100			柵～VP3.4m～ α 管 13.5m 3.4m～13m 排水滞留		
J	19	100			柵～VP3m～ α 管 3.6m	J-19 管口隙間 柵目地 隙間	
K	20	125			柵～VP6m	K-20 管口隙間	
L	21	125			柵～VP5.1m	L-21、22 管口隙間	
	22	100			柵～VP3m～ α 管 7.4m 3.4m～5.2m 排水滞留		L-23 管口隙間

	23	65	1F 雑		枡～VP 3 m～ α 管 8.7m 0m～4.9m 排水滞留	L-25 管口隙間	
	24	125			枡～VP 3 m～ α 管 3.6m 0.9m～2.0m 排水滞留		
	25	100			枡～VP 2m～ α 管 9.5m		
M	26	100			枡～VP 1m～ α 管 7.5m 0.7m～3.4m 排水滞留	M-28 管口隙間	
	27	65	1F 雑		枡～VP 2.7m～ α 管 3.5m		
	28	100			枡～ 挿入附加 1.2m～1.6m 排水滞留		
N	29	100			枡～VP 3.5m～ α 管 12.8 m 12.8m～13.6m 排水滞留	N-29 管口隙間 N-30 管口隙間 N-31、32 管口隙間	天井 配管
	30	125			枡～VP 2.8m～ α 管 4.7m		
	31	65	1F 雑		枡～VP 2.6m～ α 管 4.7m 2.8m～4.7 m排水滞留		
	32	100			枡～VP 3.2m～ α 管 3.8m 3.0m～3.4m 排水滞留		
O	33	65	1F 雑		枡～VP 4.1m～ α 管 8.5m 6.4m～8.5m 排水滞留	管口隙間	
	34	100			枡～VP 4.7m～ α 管 8.1m 3.2m～4.2m 排水滞留		
P	35	100			枡～4.3m 排水滞留なし 切替部確認不能	管口隙間	
Q	36	125			枡～VP 3.6m～ α 管 3.9m	管口隙間	
	37	100			枡～VP 5m～ α 管 8.2m		
	38	65	1F 雑		枡～VP 6.4m～ α 管 8.7m 4.0m～5.5m 排水滞留 7.8m～8.7m 排水滞留		
	39	100			枡～VP 6.2m 切替部確認不能 0m～3.0m 排水滞留 5.4m～6.0m 排水滞留		
	40	100			枡～VP 5.5m～ α 管 9.2m 4.5m～4.8m 排水滞留		

2.4m～3.4m排水滞留

3.0m
塩ビ管～ライニング鋼管



工事名	
図面名	A-1
作成年月日	平成28年10月
縮尺	NO SCALE